

## 夢アイデアコンテスト 2019 応募

# 「韓日友好平和大橋」の建設により、九州・日本と韓国の国民的 交流を深め、現在の危機的状況乗り越えよう

### <提案の特徴>

- ① 韓国と日本の7千年の交流の歴史を踏まえ、対馬と釜山を結ぶ平和大橋を両国共同で建設し、韓日の新しい未来を切り開くことが可能
- ② 特に、九州・日本と韓国の交流が飛躍的に前進し観光客が激増する可能性を秘めている
- ③ 政治、経済、歴史、文化交流の画期的起爆剤になる可能性を秘めている

現在、韓日関係は戦後最悪の状況に陥り、国民感情にも影響を与えつつある。韓日の交流の歴史は7千年前に遡る。隣国であるから当然であるが、その後600年ころから複雑な歴史が始まり交流と戦争の歴史が続いた。

しかし、江戸時代は朝鮮通信史を通じて友好的交流が続き、日本には多くの歴史遺跡が存在している。私は福山鞆の浦に何度も行き、福岡では韓日交流のため朝鮮通信使の行列を一緒に再現した経験がある。近代になってからはさらに不幸な歴史が展開し、韓国に多大な迷惑をかけてきた。戦後、日韓基本条約に基づき友好関係が深まってきたが、いまだ様々な課題や問題点を抱えている。

私は、韓日関係はあまりに近く親しい間柄であるため「近親憎悪」の関係にあるのではないかと考えている。これから両国の未来を考えると、その関係を相互に理解認識しながら未来志向で交流を深めていくべきだと願っている。

そこで、その起爆的大事業として韓日友好平和のシンボルとして釜山と対馬を結ぶ海上大橋の建設を提案したい。対馬～福岡間の147キロに比べ、その距離はわずか49.5キロである。現在、世界最長の橋として、中国本土と香港を結ぶ55キロの橋が工期8年をかけて今年の10月に完成する予定である。香港デモばかりが突出しているが、中国と香港の関係も今後改善する可能性を秘めている。

私は、現在の韓国と日本の経済力、技術力をもってすればこの50キロ弱の大橋は建設可能であると思う。この大プロジェクトを未来志向の韓日友好交流のシンボルとして建設することは歴史に残る大事業になると信ずる。この事業は韓日経済の活性化につながり、韓日の国民的交流が今よりもはるかに進展するであろう。

さらに、この将来構想を視野に入れ、今すぐにできることを提案したい。

現在、博多～釜山間には高速船ビートルが就航し、3時間余で行き来できる。すでに、これまで600万人以上が利用している。私は現在、これを利用した「韓日友好歴史体験ツアー」の企画を提案したい。この企画は単なる観光ツアーではなく、韓日

両国民がともに双方の歴史遺産を学び交流するという体験学習型のツアーである。とりあえず縁の深い九州各地を回り、老若男女、韓日双方から 20 人ずつ 40 人前後の参加者を募集し、7 日から 10 日間のツアーを実施できればと考えている。特に、福岡、佐賀、長崎、熊本、鹿児島には多くの韓日交流の歴史が眠っている。夜には相互交流を深める。年に数回実施することにより韓日の国民的交流は飛躍的に深まると考えている。この交流の実績が「韓日友好平和大橋」の建設につながり、国民の相互理解が深まり、韓日の関係は劇的に進展すると信じている。

